

科目名 : 工業数学 演習  
 科目英文名 : Industrial Mathematics 、Seminar  
 担当者 : 金 大貴  
 授業(形態) : 専門科目(演習) 単位(区分) : 1単位(準必修)

[ 科目の主題と目標 ]

工業数学 の講義の内容に即した演習を行う。実際に自分で考え、問題を解くことにより、講義で学んだ内容に対する理解の充足を目指す。

[ 授業内容・授業計画 ]

回数	題 目	内 容
第1回	複素関数論	複素数の幾何学
第2回	複素関数論	複素関数
第3回	複素関数論	正則関数
第4回	複素関数論	コーシーリーマン方程式
第5回	複素関数論	等角写像
第6回	複素関数論	複素積分
第7回	複素関数論	コーシーの定理による定積分計算(1)
第8回	複素関数論	コーシーの定理による定積分計算(2)
第9回	複素関数論	テイラー展開とローラン展開
第10回	複素関数論	留数定理
第11回	複素関数論	留数定理による定積分計算(1)
第12回	複素関数論	留数定理による定積分計算(2)
第13回	特殊関数	ガンマ関数、ベータ関数、ベッセル関数
第14回	質疑応答	

[ 評価方法・評価基準 ] 出席して問題を解いていること。演習問題の発表回数、レポート。レポート点数の合計が60点以上。ただし、50~59点の間の者は課題の成績によって可否を検討する。

[ 受講者へのコメント ] 必ず工業数学 (講義)を受講すること。

[ 教材 ] 演習問題のプリントを適宜配布する。

[ オフィスアワー ] 月曜日 6 限目、[ 部屋番号 ] B-512、[ 内線番号 ] 3087